

教科名	国語
科目名	論理国語
グレード	
単位数	2単位
対象学年	高校2年

科目の概要	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。授業においては近代以降に記された「評論文」の読解と言語活動を中心に行う。生徒自ら目的意識を持って学んでいけるよう、生徒主体の活動も数多く行っていく。また、語彙力向上のために漢字テスト等を実施していく。
科目の目標	①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。③言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会とかわらうとする態度を養う。
使用教科書	「探求 論理国語」（桐原書店）
使用副教材	「近代小説 四選」（桐原書店）、「入試漢字2800」（桐原書店）、「新成現代文」（尚文出版）
評価の方法	1知識・技能（実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。）2思考・判断・表現（「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的・批判的・かつ創造的に考える力及び思いや考えを伝え合う力を身に付けている。3主体的に学習に取り組む態度（言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度と読書に親しみ自己を向上させようとする意識を身に付けている。）以上の三点について、①定期考査、②毎週実施の漢字テスト・課題への取り組み方③授業の出席及び参加状況等において総合的に評価する。
学習の方法	【予習】①次回の授業で学習する文章を読んでおく。②意味がわからない語句について確認しておく。③文章の主題について考察しておく。 【授業の時間】①文章の構成や主題を把握する。②文章の注目すべき表現について自ら考察するとともに、発表学習や小論文等の課題を通じて他者の意見等も取り入れながらより深い読解を目指す。 【授業以外の時間】①読書・課題集も含め様々な種類の文章に触れる。②授業を通じて身につけた「聞く・話す・読む・書く」の4技能を、様々な機会に応用していく。
生徒への一言	「論理国語」は、大学受験のみならず「社会で生きていくための力を養う基本的な分野」の授業と考えて取り組んでください。「他者の意見をしっかりと聞くこと」「自分の考えを明確に伝えること」「文章を正確に読み取ること」「文章をわかりやすく書くこと」といった技能が必要です。たくさん文章に触れてほしいと思い、課題集も用意しました。しっかりと取り組みましょう。

月	授 業 予 定
4月	教科書「いのちは誰のものか？」（評論）（要約練習）
5月	教科書「動物の信号と人間の言語」（評論）（要約練習）
	5月下旬 前期中間考査
6月	教科書「イスラム感覚」（評論）（話し合い活動）
7月	教科書「変身に伴う快樂と恐れ 『山月記』を通じて」（論文を読む）
8・9月	小説「山月記」と比較対照させて読む。（小論文トレーニング）
	9月下旬 前期期末考査
10月	教科書「木を伐る人／植える人」（評論）
11月	教科書「ロボットは心を持つか」（話し合い活動）
	11月下旬 後期中間考査
12月	教科書「『である』ことと『する』こと」（評論）
1月	教科書「淋しい人間 『こころ』を通じて」（論文を読む）
2月	小説「こころ」と比較対照させて読む。（小論文トレーニング）
	2月下旬 後期期末考査
3月	教科書「実用的な文章を読む」（通信文を書く）

